

私たちの木（草）を決めよう

■プログラムの概要

ねらい	・身近な自然の中の樹木に親しみ、個性や特徴を捉え地域の自然への関心を高め、大切にしている行動が取れる子どもを目指す。 ・自分たちの気づきや考えを協力して分かりやすく伝え、学校の自然環境を大切にしていける行動が取れるようになる。		
キーワード	いきもの、身近な自然		
対象	小学3年～中学1年		
時間	45分×3	実施場所	校庭または学校周辺 条件によって身近な公園
使用するもの	ワークシート、周辺の地図、学校の植栽図面、筆記具、図鑑、模造紙、マジック、区の資料等		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 木（草）を見るポイント 板橋区にある街路樹を中心に、木（草）のおもしろさ・不思議さを知る。 板橋区の木（草）について理解する。2. 木（草）を見つけ調べる 設定した活動場所内で代表になると思う木（草）をグループごとに見つけ調べる。3. 木（草）の特徴をまとめる 調べた木（草）の特徴をまとめ、どこにあったか地図に書き込む。4. 発表、討議 グループごとに発表・討議を行い、町や学校の木（草）を決定する。5. 代表の木（草）のPR 代表の木（草）が決定したら、学校内にPRする。		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
15分	<p><木(草)を見るポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> • 学校にはどこに、どんな木(草)があるのか児童に問いかける。 • 板橋区の街路樹を中心に、実や花、葉に特徴のある木(草)を紹介する。 • 板橋区では、区の木・花・鳥が制定されていることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> • 四季を思い起こしながら行くと良い。 例：校庭のどこに実のなる木はあるか、花の咲く木はあるか等。 • 区で設定したものは、どのような理由で決定したのか伝える。
30分	<p><木(草)を見つけ調べる></p> <ul style="list-style-type: none"> • グループに分かれ、自分たちの学校や町を代表するような木(草)を調べに行く。 • 特徴や周辺環境なども調べる。協力が得られるのならば、地域住民にインタビューを行う。 • におい、大きさ、手触り、色など五感を使って特徴をつかむようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> • なぜ木(草)を決めに行くのか、動機付けを行う。例えば：他の人に伝えたい、自慢したい、代表にしたい等。 • 学校外で活動する場合には、安全や行動範囲に十分注意することを伝える。 • 種名はわからなくても良いことを伝え、特徴を調べてくるように促す。 • ワークシート参照。
30分	<p><代表の木(草)の特徴をまとめる></p> <ul style="list-style-type: none"> • なぜその木(草)を選んだのか、調べた木(草)の特徴等を模造紙にまとめ、どこにあったか地図に書き込む。 • 種名がわかるようなら書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> • 代表の木を決める場合、種類にするのか、特定の樹木にするかは対象の学年に合わせる。 • 「学校の木」が決まっている場合や、校歌に樹種が入っていることなどを考慮すると良い。
15分	<p><発表、討議></p> <ul style="list-style-type: none"> • グループごとに発表し、代表の木(草)を決定する。 	
45分	<p><代表の木(草)の決定></p> <ul style="list-style-type: none"> • 代表の木が決定したら、調べてきたことをまとめるために、紙芝居や、地図を入れたポスター作成などを行い、学校や地域にPRする。 	

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
ワークシート	グループに 1 枚	
学校周辺の地図	グループに 1 枚	
校庭の植栽図	グループに 1 枚	※植栽図が古い場合、正確でない可能性が高い。
植物の図鑑	必要に応じて	
模造紙	グループに 1 枚	
マジック	グループに 1 セット	

■実施にあたって留意する点

- ・自然観察の経験のない場合には、『身近な自然を調べてみよう』や『マイツリーを観察しよう』を事前に学習しておくこと、より効果的である。
- ・活動を実施する場所は対象学年に合わせ、校庭や学校周辺、身近な公園などに設定する。
- ・野外で活動する場合には、危険な箇所や行動範囲に十分注意する。場合によっては、保護者の協力を得る。
- ・代表の木を選ぶ際、校庭にあるこの木のように「特定の木」を選ぶか、サクラ、ケヤキのように「樹種」を決定するのは、対象の学年に合わせると良い。
- ・校庭の植栽図は、樹木の枯死等により、植栽図と必ずしも一致するとは限らないので注意する必要がある。